

2005 西湖・河口湖氷まつり イベント案内

西湖野鳥の森公園・河口湖畔梨宮公園の2会場で、それぞれのテーマの「氷のオブジェ」を公開します。楽しいイベント内容を企画していますのでぜひ一度ご来場下さい。

西湖野鳥の森公園 樹氷まつり

日程 1月29日(土)～2月6日(日)

場所 西湖野鳥の森公園(西湖畔)

内容 氷オブジェの公開、樹氷のライトアップ、特産品等の販売、太鼓演奏、クラフト体験教室、焚き火等

特色 “冬の自然がつくり出す氷の世界を富士山の見える壮大な雰囲気の中で楽しむ”

今年は、ダイナミックな氷滝と御成婚記念夫婦氷など、見どころいっぱいな氷像が見られますので、ご来場下さい。又、場内土日限定メニュー販売、西湖カレーマップ等の企画も用意しております。



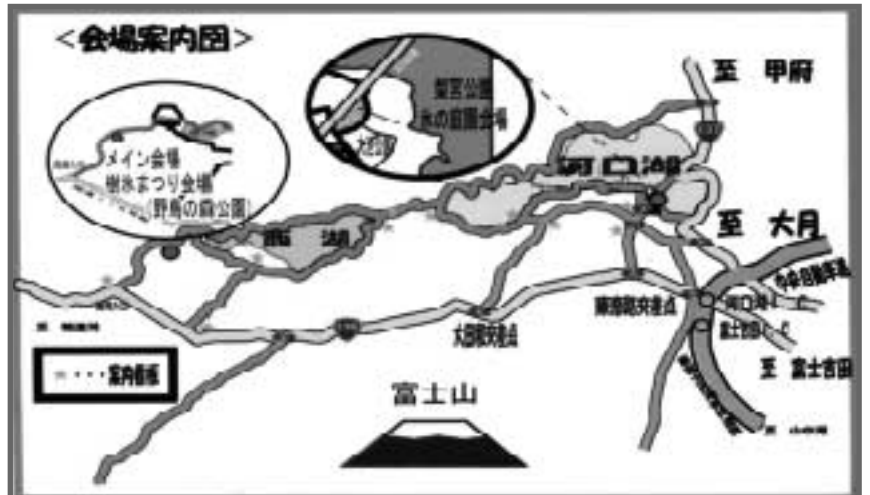
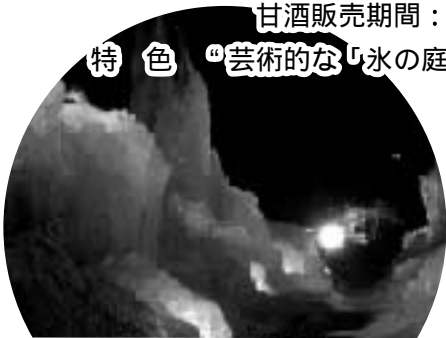
梨宮公園・氷の庭園

日程 1月15日(土)～2月6日(日)

場所 梨宮公園(河口湖畔)中原淳一美術館敷地内

内容 「氷月花」をテーマとした氷のオブジェたちの公開、幻想的なライトアップ、甘酒販売
甘酒販売期間：1月15、16、22、23日(冬花火開催日)、1月29日～2月6日

特色 “芸術的な「氷の庭園の世界」氷・月・花が繰り出す、幻想的な世界が待っています。”



富士と湖の自然をみつめて

平成 16 年度 これまでの主な成果

(1) ゲンジボタルとオオムラサキ

ゲンジボタルの飼育では、これまでで最大の約 260 頭の幼虫、約 20 頭の成虫の成果。6月 26日にはホタルの夕べを開催、ジュニアレンジャーの子どもたちによって約 10 頭の成虫が美術館施設に放されました。美術館・生活館・ハーブ館・ミュージアム館や各公園管理部・河口湖ロータリークラブの方々のご協力によって維持できている河口湖畔 4ヶ所のピオトープ施設も、自然再生研究会(下記)にも協力してもらえらることになりました。



オオムラサキは、2002年 1月に河口地区で初めて野外越冬幼虫を見つけましたが、昨年 12月にも 2頭の越冬幼虫を確認(冬連続)自然のピオトープ(「生物の住む場所」の意味)として雑木林が重要なことを示せました。

第 10 回のホタル・オオムラサキ賞も、町内の小中学校のご協力で 185 点の応募をいただき、入賞作品を合併後はじめての文化祭で披露することが出来、現在 1 年間の予定でフィールドセンターに展示しています。

(2) 絶滅危惧草原性蝶類の幼虫・成虫の生態調査

昨年度から昭和大学萩原康夫先生と共同で開始したミヤマシジミの調査も大きく進展し、昨年 11月に「絶滅危惧種ミヤマシジミの保全に関する基礎的研究 2. 成虫と幼生の分布からみた個体群構造について」と題して野生生物保護学会と日本鱗翅学会で発表。自然環境保全研究活動助成基金の研究助成でも全国 5 件の中に入れました。

(3) ニホンリスの生態調査

フィールドセンター周辺でのニホンリスの生態調査は、森林総合研究所多摩森林科学園・東京農工大学との共同で 3 年目を迎え、アカマツの球果が重要な餌となっていることなどがわかってきました。発信器をつけた個体の追跡でも秋から冬のデータが得られ、念願だった 5 月でも 10 月から 12 月に追跡することができました。

(4) ニホンイノシシ・ニホンザルの被害予測のための生態基礎調査

3 年前から東京農工大学と共同で実施しているニホンイノシシの生態調査では、発信器はつけられませんでした。前年に続いて御坂山脈約 6500ha の範囲で行われたイノシシ道調査では、5 月になると前年 12 月より減少し、8 月にかけて増加していたことがわかりました。また、今年度から東京農工大学・山梨県環境科学研究所と共同ではじめてのニホンザルの生態調査も、12 月までに河口群の 1、浅川群(吉田群)の 2、1 に発信器をつけ追跡しています。

(5) その他

1 月から開始された富士河口湖町公認ネイチャー・ガイド養成講座にも協力しましたが、1 期・2 期ともに素質と熱意をもった受講生に恵まれ計 37 名が巣立っていきました。

これから 3 月にかけて平成 16 年度のまとめと平成 17 年度にむけての準備をしっかりとしたいと思います。今年もご協力をよろしくお願いいたします。

自然再生研究会の会員によるピオトープ整備(1)

河口湖畔 4ヶ所のピオトープ施設も 7 年目を迎え、草が生えそろって良い条件になってきていましたが、植物の伸びすぎの場所も目に付くようになってきました。そんな折、昨年 11月に「昔の豊かな日本の自然を再生するにはどうしたらよいか」を考え実践する大学院生・大学生を中心とした組織「自然再生研究会(現在は東京農工大学・宇都宮大学の大学院生が主体)が発足しました。12月 8日には全ピオトープ施設 6ヶ所を見学してもらい「他県でも色々見てきましたが、かなり良い状態ですね」との感想ももらい、維持管理にも協力したいとの申し出をもらっていました。



そこで 2 日に 4 人の協力で、暖冬の影響から草が伸びて溜まってしまった美術館施設の水路をきれいにしてもらいました(写真)。12 月末でも青々している草の下からマメゲンゴロウやミズカマキリ(写真)、カゲロウやカワゲラの幼虫も見つかり「初めて見ました」といいながら作業と並行して熱心に観察していました。これら水生生物が冬越しできる環境になり、ホタルの幼虫の餌になるカワナも順調に生育していましたので、今年のホタルの時期が楽しみです。



ご意見・ご質問は、TEL(FAX) 0555- 20- 3510 河口湖フィールドセンター 自然共生研究室まで

女と男の情報コーナー



平成十六年度南都留地区「男と女とのフォーラム」

子育て支援

「家庭・企業・行政にできること」

南都留地区女性団体連絡協議会と男女共同参画推進リーダーを中心に西桂町を会場として「男と女とのフォーラム」が12月4日に開催されました。

社会全体で「子育て支援」に取り組むことをテーマにパネルディスカッションが行われました。

元県立女性センター館長の吉原五鈴子先生のコーディネートで、4人のパネリストによる意見発表が行われました。発表要旨を紹介します。

佐藤安子さん(株)シチズン電子資材部リーダー
富士河口湖町男女共同参画推進委員

「企業人として、母親として」両立を通して学んだこと、感じたこと

女性が責任ある立場で仕事をする
こと、自分自身が生き生きと仕事をしたい、地域社会との接点を持ちたいという自分の生き方と、思春期の子育てでの悩み、奮戦など、家族の協力と職場の理解により実現できた。



植松久代さん(山中湖村役場 福祉保健課)

「げんきに生まれ育つやまなかこっこ計画」策定を通じて地域・みんなで「子育て支援」

次世代育成支援地域行動計画策定にあたり、ニーズ調査や住民との子育て座談会、ワークショップの開催を通して、そこから

見えてきた課題や問題点、意見を計画に反映させた。数値目標を掲げ、16年4月からスタートした。
子どもたちが育ち、また村に帰ってきてくれたらと願っている。子育て支援はまちづくり。

曾根完樹さん(富士吉田市立 富士小学校)「男の子育ての楽しさと難しさ」育児休暇をとったから見えてきたもの

子育てに男も関わるべき、特に小さなこの時期は二度とこない。育児休暇取得には職場の理解と家族の協力がすごく大事。行政の子育て支援事業は救いだった。子育てに関わった体験により現場復帰後教師としての姿勢に変化があった。

進藤中さん(山梨中央銀行 人事部長)

「子育て支援における当行の役割」企業として何ができるのか

現状として、育児休業法、男女雇用機会均等法等制度はあるが実行が伴っていない。企業の社会的責任として被用者に指導、教育が必要。県男女共同参画基本計画をうけて2005年4月スタートにむけて行動計画策定を進めている。育児休業取得者の数値目標を設定(男性も含めて) 出産、子育てによる退職者に再雇用制度 制度 休暇の拡充など

レビュー

あけましておめでとうございます。本年度も委員一同よろしくお願ひします。2005年はトリ年、たくさん幸せを皆さまとトリーごめたいと思っています。

さて、私事ですが、9年ぶりにスキーを再開することになりました。結婚して子育てや家事に追われる毎日、毎シ

1ズン思いはあったものの現実的に不可能な9年間でした。しかし、今年ようやく家族の理解と協力で念願だったスキーができるようになりました。それから一つステップアップしてスキーインストラクターとして今研修中です。そして大きな夢だったスキー一級を今シーズンには自分のものにするというのが元旦にたてた私の目標です。

主婦の限られた時間の中で一生懸命取り組んでいきたいと思っています。子育てや毎日の生活などの主婦という立場以外の場で、夢や目標に取り組みることができることを応援してくれる家族やその他の方に感謝をしている今日この頃です

ぴゅあ富士エンパワーメントセミナー 「人を大切にする仕事起こし」

NPOについて学ぶ連続3回講座です。大勢の皆様参加をお待ちしています。

日時及び内容

- 第1回 NPO入門～人を大切にする事業とは
平成17年1月27日(木) 19:30～21:00
- 第2回 現場に学ぶ～醍醐味と課題
平成17年2月 3日(木) 19:30～21:00
* NPO法人「スペースふう」・NPO法人「生活介護支援くまちゃん」の代表からお話を聞きます。
- 第3回 具体的なアクションに向けて
平成17年2月10日(木) 19:30～21:00

講師 都留文科大学社会学科教授 田中夏子さん(3回通して)
場所 ぴゅあ富士 山梨県立男女共同参画推進センター
対象 どなたでも参加できます。
その他 参加は無料です。3回連続での受講が原則ですが、回ごみの受講も可能です。託児をご希望の方は3日前までにお申し込みください。
参加・問い合わせ先 ぴゅあ富士 男女共同参画推進センター
TEL 0554-45-1666 FAX 0554-45-1663

「富士山」をナンバー名に!

国土交通省では、車のナンバープレート名に、新たな地域名の創設を認めることになりました。富士五湖広域の市町村では、日本のシンボルである富士山を地域のナンバー名として、観光など地域の振興を図ることを目的に、創設に向けて準備を進めています。

創設には地域住民の熱意が必要となります。そこで、今回アンケート調査を、1月20日までに広域全体で無作為抽出により、二千名ほど行いますので、ご協力をお願いいたします。

また、アンケートの方以外にも、富士山ナンバーに対するご意見がありましたら、担当までお寄せ下さい。

問合せ先 富士五湖広域行政事務組合

2005年農林業センサスが実施されます

農林水産省では、平成17年2月1日現在で、「2005年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

1月中旬から調査員が農林業関係者の方々を訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。

第29回ちびっ子探検学校ヨロシ島参加者募集

この事業は、沖縄に近い南の島、与論島の青い海と美しい自然の中で、仲間と助け合うこと

を知り、在日外国人小学生と活動・生活を共にすることで言語や習慣を越えて友情を深め、国際感覚を身につける第一歩とするものです。主な活動は、海水浴、さとうきびがり、イカダ作り・イカダごぎ、ハーレー船大会などの世界でも有数の透明度を持つ海での活動や南の島独特の文化を体験する活動、その他洞窟体験・海岸で野宿するサバイバルコースなどです。

期間 3月27日(日)～4月2日(土)

場所 鹿児島県大島郡与論島

定員 小学生400名(小学2年生～6年生)

締切 3月7日(月)

費用 約12万円程度

申込先 財団法人国際青少年研修協会

tel 03 3359 8421

fax 03 3354 2207

山梨ことぶき勸学院 学生募集

平成十七年度学生を募集します。「共に学び、明日への生きがいをつくる」を目標に、長年培ってきた知識や技能をさらに磨き、県下9学園に集う仲間とともに、山梨・日本・世界・現代社会などについて学んでいきましよう。

募集人員 各学園40名(南都留他8学園)

募集期間 1月24日(月)～

定員に達し次第締め切ります。

入学資格 県内在住のおおむね六十歳以上の方で、健康で学習意欲のある方。

終業年限 2カ年

学費など 基本学習費等

問合せ先 富士北麓・東部教育事務所

0554 45 7821

県立都留高等技術専門校・受講生募集

1、職業訓練6ヶ月コース 機械科・服飾科
 募集期間 4月8日～9月30日

定員 機械科 10人 服飾科 15人

応募資格 求職者(原則として公共職業安定所に求職を申し込んでいる方)

受講料 無料(教科書代等の自己負担あり)

訓練内容 機械科 普通旋盤、フライス盤、NC盤、マシニングセンタによる金属切削加工等の技術の修得

服飾科 採寸、型紙作りから動力ミシン等による洋裁技能の習得

募集期間 1月24日～2月28日

2、ホームページ開設講座

日程 3月3、4、7、8、10、11日

時間 午後6時～8時50分

定員 20名

受講料 2100円

内容 インターネットを利用してのホームページ作成及び電子商取引方法
 対象者 パソコンを使用した文書のできる方

3、在職者訓練講座

在職者訓練講座として、4つの講座が4月から行われます。各講座とも2月初旬以降から受付しておりますので、ご利用下さい。

新入社員講座、第2種電気工事士・筆記試験準備講座、ウインドウズXP、中高

年齢者のためのパソコン・基礎編

問合せ先 県立都留高等技術専門校

0554 43 8911